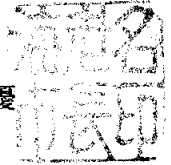


平成 25 年 12 月 4 日

図書館友の会全国連絡会  
代表 福富 洋一郎 殿

海老名市長 内野 優



海老名市教育委員長 海野 恵子



### 陳情に対する回答について

このことについて、次のとおり回答いたします。

#### 記

〔件 名〕海老名市立図書館の指定管理者の選定について陳情について

平成 25 年 11 月 14 日付で貴会から送付されました陳情について、下記のとおり回答させていただきます。

なお、海老名市立図書館の指定管理者選定については現在のところ、公募により募集を行ない、指定管理者選定委員会において事業者の提案が、市民の皆様に図書に親しんでもらえる、より一層の利用促進が図れるサービス提案であったことから、審査の結果、候補者として決定し、この度市議会において図書館の指定管理者の指定について、指定の議決を得るために議会上程している段階でございます。

更に、業務の詳細については、提案内容をもとにこれから事業者と協議、調整するため未確定な部分があることをご理解願います。

#### 1 自治体の首長が、特定の民間会社を指定管理者に選定し、十分な情報公開をしない地方自治のあり方は問題

海老名市では、近年の社会情勢の変化や市民ニーズの多様化から、市立図書館に指定管理者制度を導入し民間のもつノウハウやアイデアを取り入れ、時代のニーズにあった新たなサービスを提供できる図書館とするため、指定管理者を導入することと致しました。

指定管理者の募集にあたり、これまでの既存の図書館の枠にとらわれず、付加価値をもたせ市民のための新たな図書館づくりをしたいと考え、図書に親しんでもらうことや、図書の充実とより一層の利用促進を図るためのサービス提案を事業者からいただく、提案型の公募をいたしました。

募集の結果は、CCC・TRC共同企業体1団体のみ応募状況でした。

指定管理者の選定には、外部からの委員を含む海老名市立図書館指定管理者選定委員会により審査基準に基づき、一次審査、二次審査を行ない当該事業者が図書館運営並びにサービス面において満足できる事業提案であったため、指定管理者候補者として決定したものです。

よって、指定管理者選定の手続きとして適切であり、それに伴う情報も公開してございます。

## 2 「民主主義の砦」としての公立図書館の役割と公共性への配慮が欠如している問題

利用者が横ばいであった図書館に、利用者の要望、意見をハード、ソフト面の両方において取り入れ新たな図書館運営を目指しております。

事業者からの提案では、開館日の拡大（365日開館）や開館時間の延長、座席数拡大、子ども専用フロアー（キッズライブラリー）設置など、気兼ねなく、いつでも利用することができるサービス内容となっています。

基本的にこれまでの図書館としての機能である資料収集や情報提供等については、なら変わるものではございません。

更に、司書の配置率についてもこれまでのレベルを維持することを条件としています。

図書以外の付加機能も追加され、これまで図書館に足を運ぶことのなかった新しい利用者も増え、より多くの市民利用に供することができるかと信じています。

## 3 利用者の増加が図書館サービスに結びついていない問題

先進自治体である武雄市のように利用者が増えることは、図書に興味をもってもらう第一歩だと思います。

新たな図書館づくりを目指すうえで、「若者の活字離れ、子どもの読書離れ」と言った問題も行政としてしっかり取り組む必要があります。

そのためにも、まずは図書館に足を運んでもらい本に親しんでもらうことが重要であり、そこから調べることやレファレンスを受けることで市民の調査能力が高まります。

公共施設だからこそ、市民が集い、にぎわい、自分のライフスタイルにあった憩いの場を求めていただければと考えます。

なお、貸出し可能な雑誌資料の所蔵、書店販売については、詳細が未確定のためご意見を参考とさせていただきます。

また、CDやDVDレンタルについては、本市の図書館には入れません。

## 4 T-ポイントカードと図書館カードとの併用はCCCの営業支援となる問題

海老名市立図書館でもT-カードを利用者カードとして採用し、これまでの図書館利用者カードと併用して導入したい旨の提案ですが、今後のマイナンバー個人番号制度などの動向を鑑み検討していきます。

また、ポイントの付与についても慎重に検討する必要があると考えます。

## 5 図書館サービスの専門機能の継続性が担保されない問題

貴会が述べられるように、公立図書館の役割の一つに郷土資料や行政資料の収集、保存、次世代に引き継ぐという使命を併せ持っていることは当然です。

事業者からの提案においても、情報拠点機能として積極的に収集に努める事業計画としています。

また、質問2でもお答えしたように、司書の配置についてもこれまでの業務委託同様、海老名市の図書館として質の低下を招くことなく市民に対してレファレンスできるスタッフを配置するよう条件付けています。

なお、共同事業体であるTRCの実績は高く、現スタッフも利用者から評価をいただいております。

## 6 CCCの採用は、地域振興に結びつかない問題

今回の指定管理者を募集するにあたり、図書館サービスの向上を図るため、専門的なサービスを提供できる人材（司書等）の確保に努めるよう要求してございます。

上記にもあるように、図書館は市の情報拠点としての役割を担っているため、配置する職員は、海老名市出身者又は在住者を採用するよう努めることとしており、事業者側も地域の情報に精通し、市民の要望に応えられる者の配置を十分認識されています。

事務担当：市民協働部 地域自治推進課